

ジョイフル城北 スマイル城北



令和6年度 学校だより

ジョイスマ

令和6年 9月 2日

熊本市立城北小学校

校長

2学期スタート!「支え合う仲間」に

2学期が始まりました。38日間の夏休み、子どもたちはどのように毎日をおすごしていたのでしょうか。8月8日宮崎で震度6弱の地震がありました。そう遠くない未来に起きるといわれている南海トラフ地震を心配して、お盆期間をおすごされたご家庭もあったのではないかと思います。巨大地震注意報では、その後1週間は注意してほしいということでした。しかし、地震が起きやすい日本に住んでいる私たちは、いつ、どこで地震に出会うかもしれません。地震が起きたときに、どのように行動するかを考えながら、おすごしていく必要を感じました。

さて、1年間の中で1番期間が長い2学期です。子どもたちは、学校での授業や行事など、いろいろな場面で長い期間を一緒に集団行動・集団生活を行います。そんなとき大切なのは、友達同士お互いが支え合うことです。熊本地震でも共助を行い、大変な時期をおすごしました。そこで、始業式で次のような話をしました。

みなさん、おはようございます。今日から2学期がスタートします。夏休みは、楽しくおすごせましたか。今年の夏は、例年になくとても暑い夏で酷暑でしたね。気象庁では35度以上を猛暑日と言います。人の体温は平均的に約36度の人が多いです。このために、体温に近い気温になると熱中症の危険も高くなり、命の危険になります。熊本市は、7月22日にこの猛暑日がスタートして、何日間続いたと思いますか。そうです。8月18日までの28日間続きました。もうすぐ9月ですが、まだまだ残暑(暑い日)が続きます。熱中症に気をつけて2学期をおすごしてほしいと思います。

さて、7月26日から8月11日までフランスのパリを中心に開催された大会がありました。何が開催されたか知っていますか。そうです、パリ2024オリンピックです。みなさんはテレビで見ましたか。校長先生もテレビで見ました。金メダル20個、銀メダル13個、銅メダル12個、合計45個、金メダルの数は世界3位、合計の数は世界6位でした。そんなすばらしいパリオリンピックでしたが、ある種目の金メダル獲得のニュースを見て、校長先生は感動しました。

それは「体操男子 涙のち金」という見出しでした。日本の男子体操チーム5人は、予選は2位で決勝に進みました。男子体操チームは金メダルが期待されている種目です。5人の選手たちはそんな期待からか、とてもプレッシャーがあったと思います。特にエースの橋本選手はきつかったようです。なぜかという橋本選手は、右手の中指をけがして、練習もきちんとできず、体力がしっかり戻らないうちにオリンピックを迎えたそうです。このため橋本選手は、得意の鉄棒でミスを犯しチームのブレーキになりました。橋本選手は、エースという自覚から、そんな思うようにならない自分が許せなかったそうです。決勝の橋本選手は、2種目目のあん馬競技の途中で落下してしまいます。「自分のせいで、金メダルを取れないかも」と体が凍りついたそうです。そんなときみんながチームメイトなら、どんな風に橋本選手を支えますか。男子体操チームのメンバーは、こんな風に橋本選手を支えたそうです。杉野選手は「よし、行くぞ」、萱選手は「絶対にあきらめな」と声をかけ続けたそうです。岡選手は、粘り強い演技で着実に得点を重ねました。谷川選手は、演技が終わるたびに派手なガッツポーズを繰り出したそうです。ガッツポーズはチームのみんなを励まし、奮い立たせるためでした。いよいよ最終種目の鉄棒で、最終演技者は橋本選手です。橋本選手は、みんなから元気をもらうために背中をたたいてもらい、演技に臨みました。決勝では、できる限りのすばらしい演技を行い着地も成功しました。横を見ると仲間たち全員の笑顔があったそうです。「みんなのおかげで奮起できた。ありがとう。」と橋本選手は思ったそうです。

みなさんは、授業中、友達と意見や考え方の違いがあったとき、遊んでいて友達が失敗したときなど、どうしますか。そのことをどう自分が感じるとかで、自分の気持ちや態度が変わります。

一年の中で一番長い学期が2学期です。2学期はたくさんの行事があります。パリオリンピックの男子体操選手たちのように互いに支え合う心を育て、「ジョイフル城北」「スマイル城北」で2学期も元気に頑張ってくださいと思います。